

話題沸騰ポット(GOMA-1015型) を対象としたテスト開発の実践と その工夫

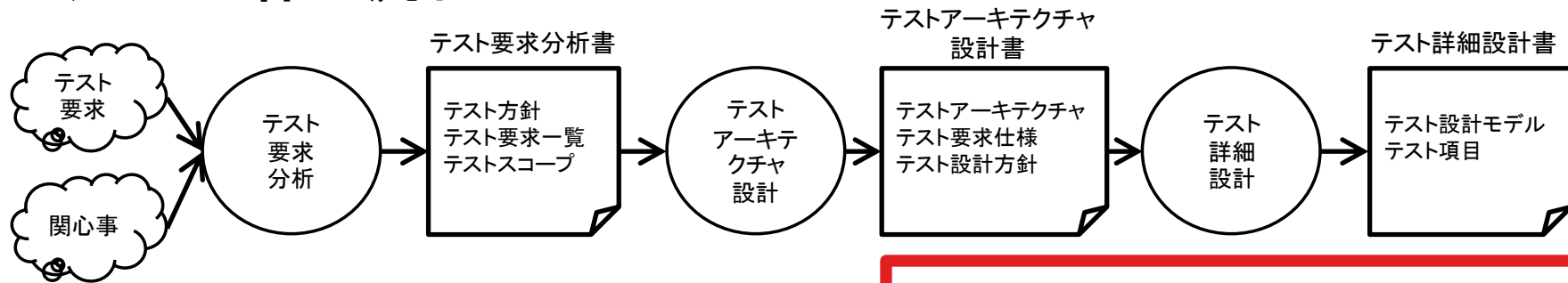
テスト設計コンテスト'13

チーム:TETTAN

発表の流れ

- ▶ 全体像と特徴・工夫点
- ▶ テスト要求分析
- ▶ テストアーキテクチャ設計
- ▶ テスト詳細設計

● テスト全体の流れ



● 特徴・工夫点

- ◆ テスト開発方法を提案し
実践としてコンテスト成果物を作成
- ◆ テストアーキテクチャの提案
: 昨年のアーキテクチャの改良
- ◆ 既に提案されている関連技術の応用
: テスト観点図、USDM、FV表、
ゆもつよメソッド、ラルフチャート

【ドキュメント体系】

テスト要求仕様書:

- テスト方針
- テスト要求一覧(リスト形式)
- テストスコープ(テスト観点図)

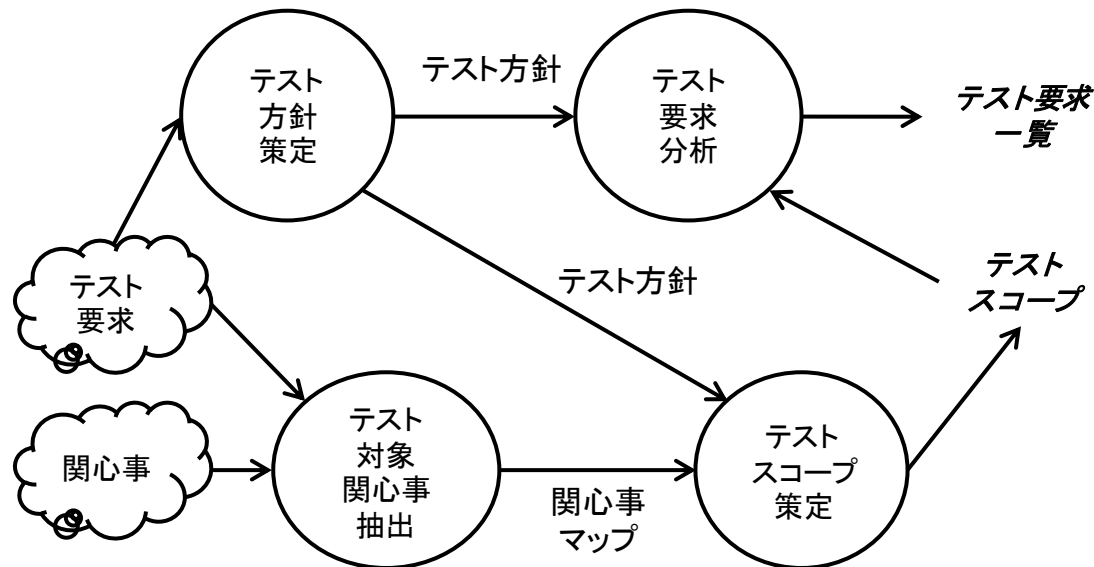
テストアーキテクチャ設計書:

- テストアーキテクチャ(オリジナル形式)
- テスト要求仕様&詳細設計方針(USDM形式)

テスト詳細設計書:

- テスト要素(同値分割図)
- テスト・評価技法(状態遷移、DT、NEM、
ラルフチャート、ペアワイズ)

- 暗黙的なテスト要求と関心事から
テスト方針を策定しテスト要求一覧とテストスコープを得る

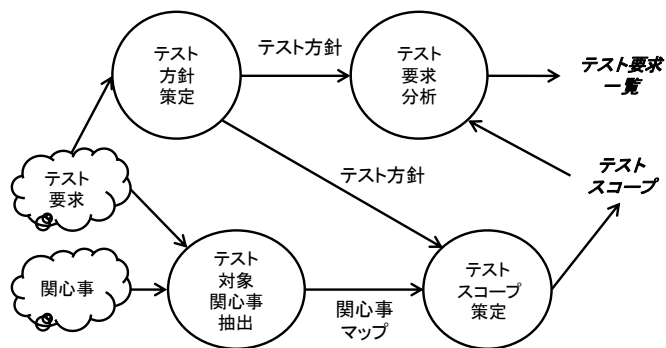


● 3つの大きなテスト方針

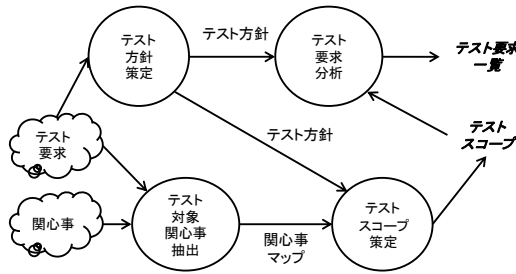
- (1) 要求仕様と実装との検証を行う: 基本中の基本
(仕様のはほとんどは機能が定義されているため機能テストが多くなる)
- (2) 安全性観点の評価を実施する: ポットという製品上重要
(1)に安全性観点の評価は含まれるので仕様より広い範囲で評価する)
- (3) ユーザ観点・性能観点の評価を実施する: ポットという製品上こちらも重要

テストスコープ(テスト観点図)

- まず沸騰ポットの
関心事を洗い出す
 - ◆ 6W2Hの視点を利用
- 次に関心事をテストに
関するものとそれ以外に
分ける
 - ◆ テスト観点とそれ以外
- テスト観点のうち、今回の
テスト設計で対象とする
ものとししないものに分ける
 - ◆ テストスコープの策定



話題沸騰ポット	開発観点
ユーザーシナリオ観点	why: 要求
when: いつ、どんなとき	機能嗜好(機能要求)
時間	時間を計りたい
早期、朝、昼、夜、夜中、15時(おやつ時間)	いつでもお湯を使いたい
シーン	湯温表示
春、夏、秋、冬	安全に使いたい: 安全嗜好
シーン	給湯を難しく、空焚き防止、漏電防止
ポットの側にいる、家に居る	エコ・節約嗜好
ポットの側にいない、勝手に動いている	健康嗜好
家に居ない、停電して復旧したとき	カルキを除去したい
非常時	簡単嗜好、単純化
地震、家事、大雨、雷、停電、洪水(漏電)、大雪	操作が簡単、掃除が簡単
where: どこで	使いやすい嗜好
空間	レスポンスが良い(早いor遅い)
暗い、明るい	水の補充がしやすい
寒い、暑い	持ち運びやすい
ジメジメ、乾燥	わかりやすい嗜好
関東、関西	沸かし中がわかりやすい
周波数の違い	沸いたときがわかりやすい
シーン	聴覚、視覚
移動中	what: 要求機能
車中	給湯
通勤、傾き	容量状態確認
学校、会社、自宅、山小屋	水位表示
お店: 一般家庭と環境が異なる	時間計測
who: 誰が	タイマ、タイマ時間表示
製品観点	音声確認
ハピーユーザー、初心者、他社製品からのユーザー	音声アラーム
人属性観点	保温
赤ちゃん、子供、老人、成人	高温、節約、ミルク
一人暮らし、家族暮らし	液体貯蔵
ハンディキャップ観点	完全機能
目が見えない、鼻が利かない、耳が聞こえない、腕がない	空焚き防止、給湯ロック
ミスユーザー	カルキ抜き
クレーマー、いらざら好き、改造好き	温度制御機能
How use: どう使う	温度表示、沸騰、アイドル
ポットを掃除する	保温機能
こすって掃除、クエン酸、ポット洗浄剤	保温状態表示
加熱、保温	ミルク、高温、節約
液体形態	沸騰保温状態表示
水、お湯	異常検知
軟水、硬水、湯水、炭酸水、お湯	傾き検知、エラー検知
想定使用形態	How spec: 仕様
お湯供給	機能仕様(下位レイヤー)
給湯ボタン=ポンプ	差センサー、サーミスタ、ヒータ、水位センサー、プザー
しかさま	給湯ボタン、給湯ボタン、沸騰ボタン、給湯ランプ、保温ランプ
時間計測	温度表示窓、モード表示窓、ロックランプ
タイマー	タイマ残り時間表示窓、インジケータセル
カルキ抜き	How much: 価格・量
白湯を利用、お湯を利用	水量
携帯性	たくさんのお湯(水)、適量、少量のお湯
運ぶ、すえ付け	環境変動
使う頻度	電圧変動、気圧変動
たまに、時々、すぐ	How long
電源供給	ポットの使用期間
コンセント、電池、バッテリー(車)、発電機	すぐ、結構使った
whom: 誰のために(c of c)	ずーと保温、ずーとそのまま
自分のため	
家族のため	
赤ちゃん、寝たきりの人、ペット	
ロコユーザー(ロコ見る人)	



● テストスコープをベースに
テスト方針に従いテスト要求を洗い出す
テスト要求一覽(リスト形式)

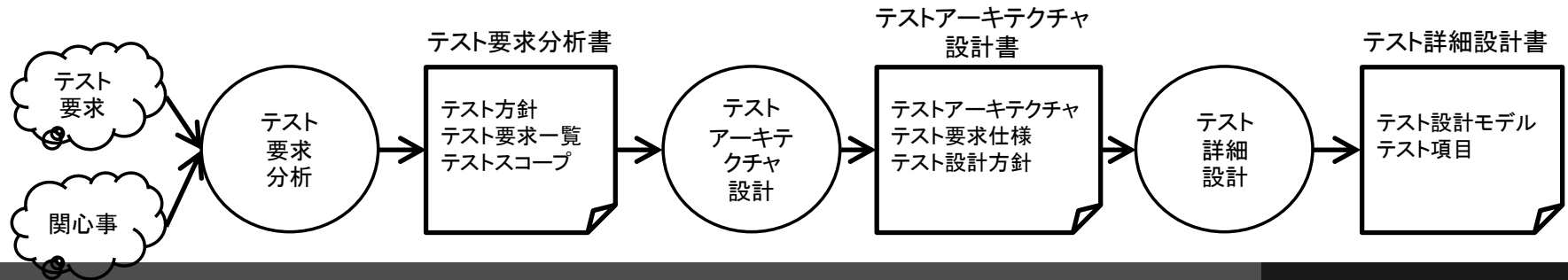
テスト要求とは、テスト対象とテスト目的をセットで表現したものである(テストフレームと同構造)

この表では、理解しやすいようにテスト要求を文章で記述し、そのテスト要求はどのようなテストフレームであるのかを併記する

テスト要求	テスト要求番号 仕様番号	説明	備考(テストフレーム、網羅観点(テスト条件))	
テスト要求	TRP01	各種設定・表示の初期設定(デフォルト)の検証を行う	設定・表示部－デフォルト確認	
テスト要求	TRP02	水位メータが提供している機能を検証する	水位メータ部－機能テスト	
テスト要求	TRP03	蓋部が提供している機能の動作確認を行う	蓋部－機能テスト	
テスト要求	TRP04	水温・湯温と温度表示が一致していることを検証する	温度表示－機能テスト	
テスト要求	TRF01	タイマ機能が提供している機能を検証する	タイマ機能－機能テスト	
テスト要求	TRF02	給湯機能が提供している機能を検証する	給湯機能－機能テスト	
テスト要求	TRF02-1	給湯行為の機能動作を検証する	給湯行為－機能テスト	
テスト要求	TRF02-2	ロック/ロック解除の機能動作を検証する	給湯停止－機能テスト	
テスト要求	TRF03	温度制御機能が提供している機能を検証する	温度制御機能－機能テスト	
テスト要求	TRF03-1	沸騰始動－停止の一連の機能動作を検証する	沸騰機能－機能テスト	
テスト要求	TRF03-1-1	沸騰始動(非始動)の機能動作を検証する	沸騰始動－機能テスト	
テスト要求	TRF03-1-2	沸騰停止の機能動作を検証する	沸騰停止－機能テスト	
テスト要求	TRF03-1-3	沸騰行為のパフォーマンスを評価する	沸騰行為－パフォーマンステスト	
	テスト要求	TRF03-1-3.1	沸騰行為の沸騰時間の性能を評価する	沸騰行為－沸騰時間性能
	テスト要求	TRF03-1-3.2	沸騰行為のカルキ抜き性能を評価する	沸騰行為－カルキ抜き性能
テスト要求	TRF03-2	保温始動－停止の一連の機能動作を確認する	保温機能－機能テスト	
テスト要求	TRF03-2-1	保温始動の機能動作を確認する	保温始動－機能テスト	
テスト要求	TRF03-2-2	保温停止の機能動作を検証する	保温停止－機能テスト	
テスト要求	TRF03-2-3	節約モードの節約パフォーマンスを評価する	節約モード－パフォーマンステスト	
テスト要求	TRF03-3	アイドルの機能動作を検証する	アイドル－機能テスト	
テスト要求	TRS01	沸騰ポットに対して安全性観点で検証を行う	沸騰ポット－安全性テスト	
テスト要求	TRS02	沸騰ポットのユーザビリティ評価を行う	沸騰ポット－ユーザビリティ評価	
	テスト要求	TRS02.1	沸騰ポットの理解性評価を行う	使用性評価
	テスト要求	TRS02.2	沸騰ポットの習熟性評価を行う	習熟性評価
テスト要求	TRS03	ユースケースに従い沸騰ポットの動作確認を行う	沸騰ポット－ユースケーステスト	
テスト要求	TRS04	ミスユースケースに従い沸騰ポットの動作確認を行う	沸騰ポット－ミスユースケース	
テスト要求	TRS05	沸騰ポットに対して割込みイベントのテストを行う	沸騰ポット－割込みテスト	
	テスト要求	TRS05.1	沸騰ポットに対して蓋開けの割込みのテストを行う	沸騰ポット－蓋開け割込み
	テスト要求	TRS05.2	沸騰ポットに対して電源OFFの割込みのテストを行う	沸騰ポット－電源OFF割込み

発表の流れ

- ▶ 全体像と特徴・工夫点
- ▶ テスト要求分析
- ▶ テストアーキテクチャ設計
- ▶ テスト詳細設計



- テストスコープ・テスト要求一覧に基づき、テストアーキテクチャの構築、テスト要求仕様化とテスト設計方針の策定を行う

- ◆ テスト対象モデル(DFD)を作成する

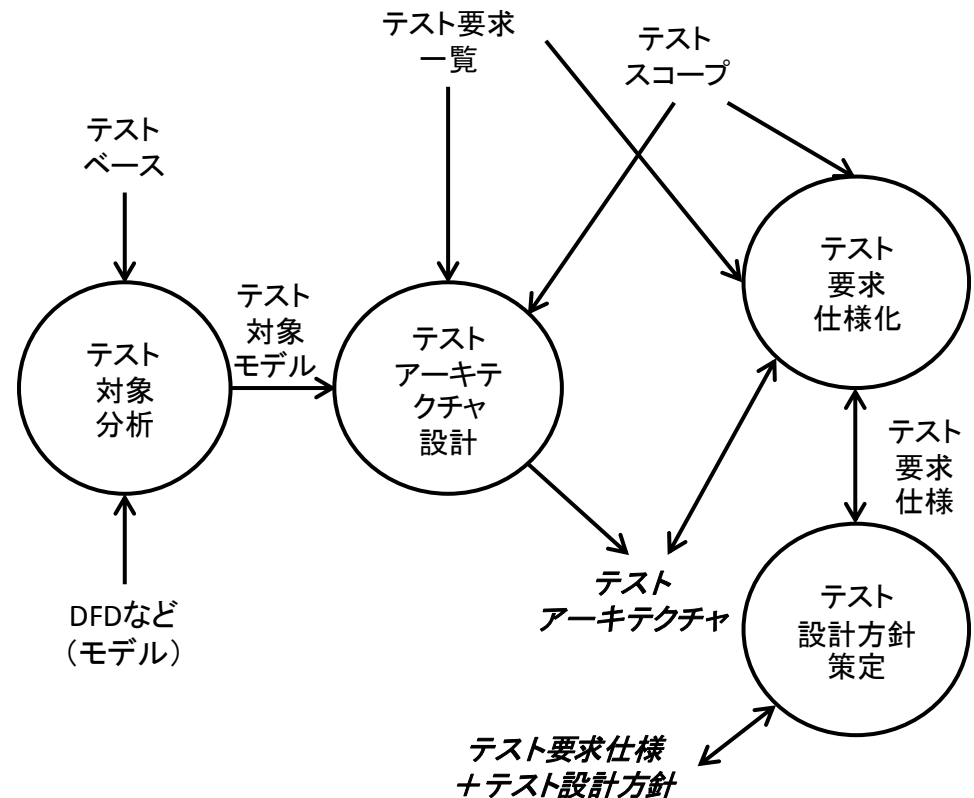
⇒テスト対象分析

- ◆ テスト対象モデルにテスト要求一覧を当てはめていく

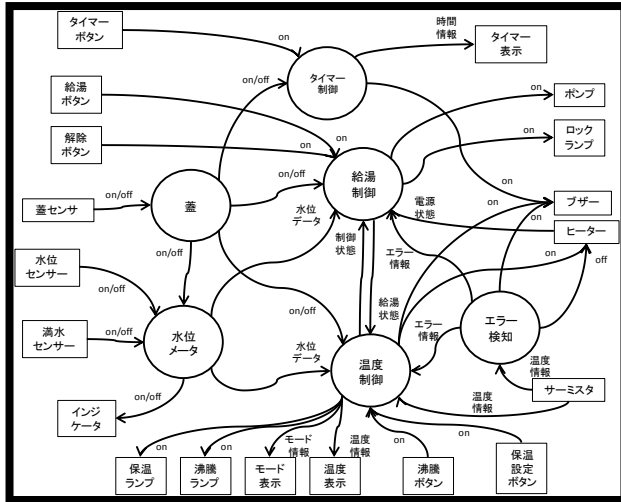
⇒テストアーキテクチャ構築

- ◆ テストアーキテクチャの構造に従い、テスト要求仕様を作成する

⇒テスト要求仕様化



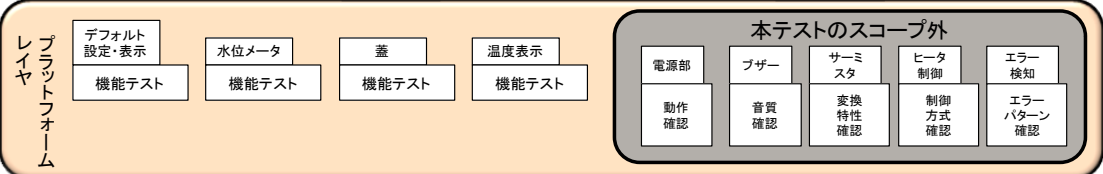
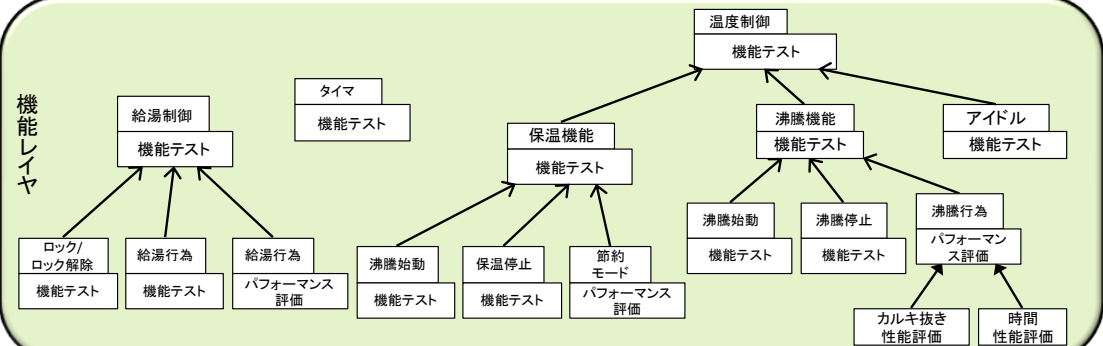
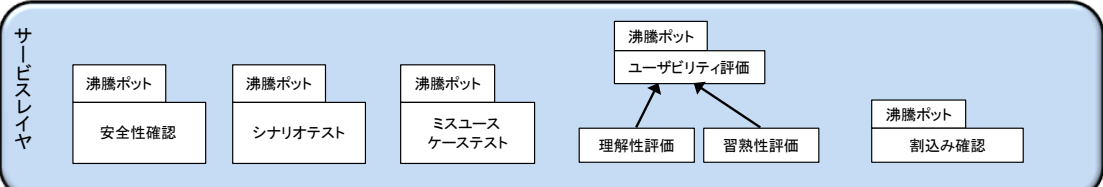
テストアーキテクチャ構築



テスト要求間の関係は、テスト対象の造りに大きく依存する。そのため、テスト対象を理解しモデル化することで枠組みを獲得し、それに対してテスト要求を整理していく。ただし、単純な作業ではなく、大きな知的変換活動(設計行為)が内在する。またテスト対象モデルが複雑になっている処理はテストアーキテクチャでも複雑な造りとなっている。例えば、温度制御機能が顕著である。

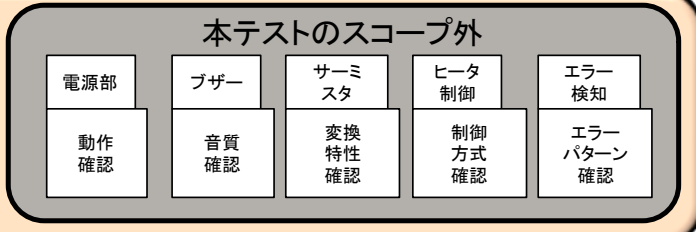
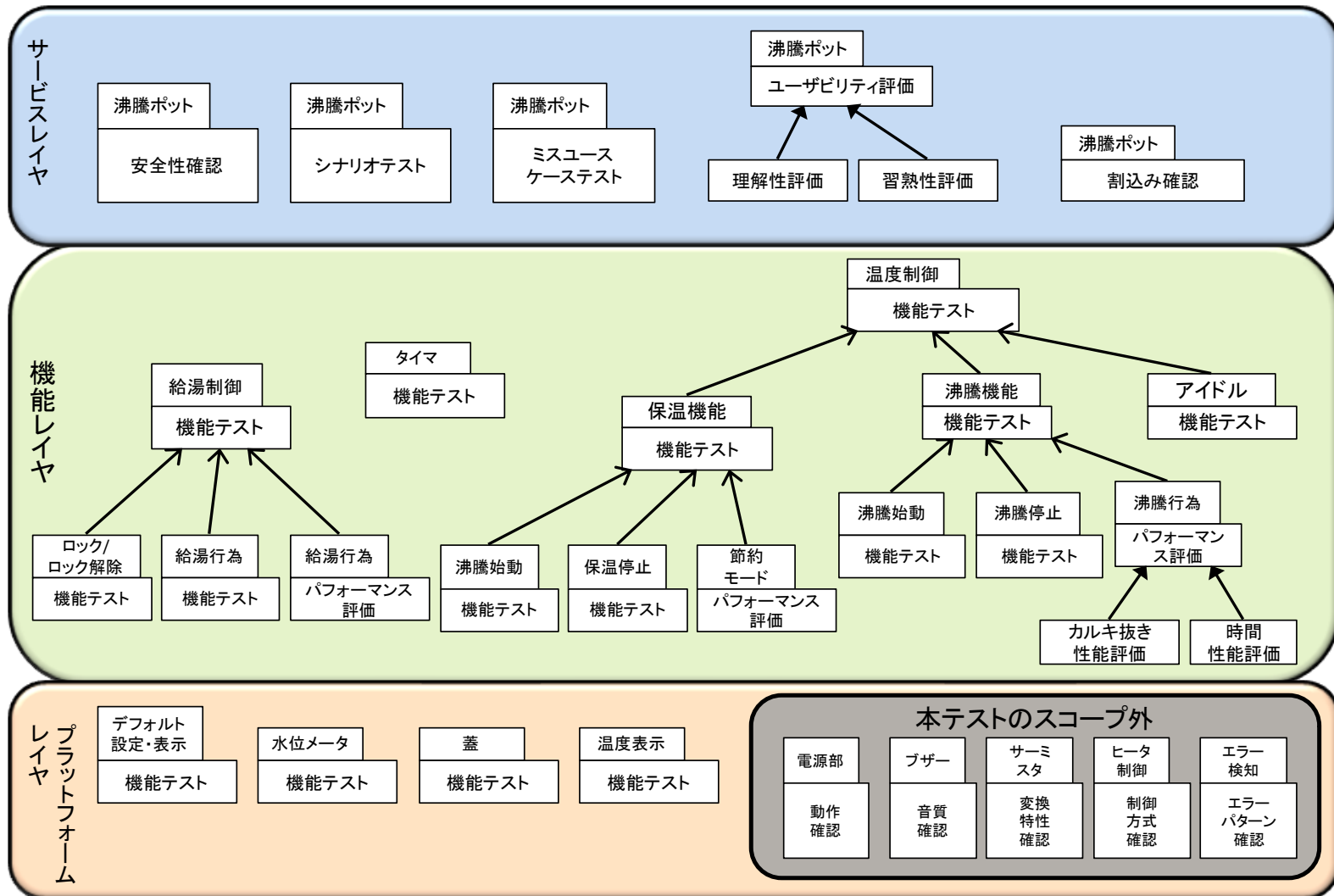
各テスト要求をテスト対象モデルに対して当てはめていく

テスト要求	テスト要求番号 仕様番号	説明	備考(テストフレーム、網羅観点(テスト条件))
テスト要求	TRP01	各種設定・表示の初期設定(デフォルト)の検証を行う	設定・表示部-デフォルト確認
テスト要求	TRF02	水位メータが提供している機能を検証する	水位メータ部-機能テスト
テスト要求	TRP03	蓋部が提供している機能の動作確認を行う	蓋部-機能テスト
テスト要求	TRF04	水温・湯温と温度表示が一致していることを検証する	温度表示-機能テスト
テスト要求	TRF01	タイマー機能が提供している機能を検証する	タイマー機能-機能テスト
テスト要求	TRF02	給湯機能が提供している機能を検証する	給湯機能-機能テスト
テスト要求	TRF02-1	給湯行為の機能動作を検証する	給湯行為-機能テスト
テスト要求	TRF02-2	ロック/ロック解除の機能動作を検証する	給湯停止-機能テスト
テスト要求	TRF03	温度制御機能が提供している機能を検証する	温度制御機能-機能テスト
テスト要求	TRF03-1	沸騰始動-停止の一連の機能動作を検証する	沸騰機能-機能テスト
テスト要求	TRF03-1-1	沸騰始動(非始動)の機能動作を検証する	沸騰始動-機能テスト
テスト要求	TRF03-1-2	沸騰停止の機能動作を検証する	沸騰停止-機能テスト
テスト要求	TRF03-1-3	沸騰行為のパフォーマンスを評価する	沸騰行為-パフォーマンステスト
テスト要求	TRF03-1-3-1	沸騰行為の沸騰時間の性能を評価する	沸騰行為-沸騰時間性能
テスト要求	TRF03-1-3-2	沸騰行為のカルキ抜き性能を評価する	沸騰行為-カルキ抜き性能
テスト要求	TRF03-2	保温始動-停止の一連の機能動作を確認する	保温機能-機能テスト
テスト要求	TRF03-2-1	保温始動の機能動作を確認する	保温始動-機能テスト
テスト要求	TRF03-2-2	保温停止の機能動作を確認する	保温停止-機能テスト
テスト要求	TRF03-2-3	節約モードの節約パフォーマンスを評価する	節約モード-パフォーマンステスト
テスト要求	TRF03-3	アイドルの機能動作を確認する	アイドル-機能テスト
テスト要求	TRS01	沸騰ボットに対して安全性観点で検証を行う	沸騰ボット-安全性テスト
テスト要求	TRS02	沸騰ボットのユーザビリティ評価を行う	沸騰ボット-ユーザビリティ評価
テスト要求	テスト要求	沸騰ボットの理解性評価を行う	理解性評価
テスト要求	テスト要求	沸騰ボットの習熟性評価を行う	習熟性評価
テスト要求	TRS03	ユースケースに依り沸騰ボットの動作確認を行う	沸騰ボット-ユースケーステスト
テスト要求	TRS04	ユースケースに依り沸騰ボットの動作確認を行う	沸騰ボット-ユースケース
テスト要求	TRS05	沸騰ボットに対して新ishイシシのテストを行う	沸騰ボット-新ishイシシ
テスト要求	TRS05-1	沸騰ボットに対して新ishイシシのテストを行う	沸騰ボット-新ishイシシ
テスト要求	TRS05-2	沸騰ボットに対して新ishイシシのテストを行う	沸騰ボット-新ishイシシ

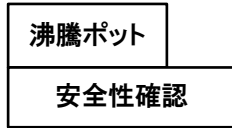


テストアーキテクチャ

縦に並んだ層をレイヤと呼ぶ。レイヤの意味は下から上に品質を保証する順序(テスト実施順序)を意味する。



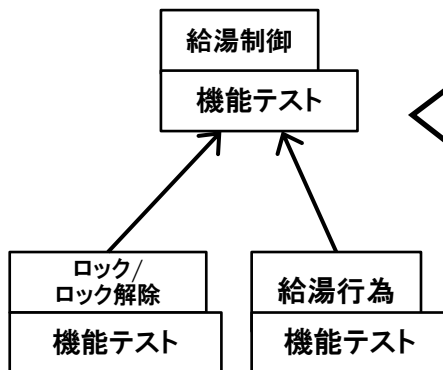
テストアーキテクチャ要素



まずこの2つの箱をまとめてテストボックスと呼ぶ。

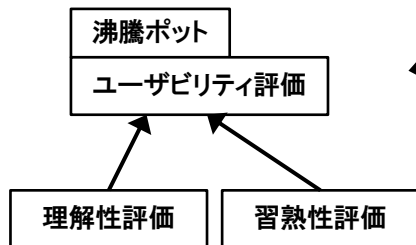
(例外的に一つの箱の場合もある)

一つのテスト要求と対応し、テスト対象とテスト目的に分けることができる。大まかにどういうテストをするのかをこれで表現し、それらテストボックスの関係を一つの絵で表現したのがテストアーキテクチャである。このテストボックスに対して、どういうテストをするのかの詳細はテスト要求仕様で記述していく。また、このテストボックスは、テスト詳細設計を進める際の一つのかたまりとなる。



この関係は、上位のテストボックスは下位のテストボックスを包含している解釈する。開いた矢印を使う。

大きな一つの機能の場合は、サブ機能など小さなテスト対象に分けて考えることが多いが、その場合この表現を用いる。サブ機能に分けた際は、サブ機能に対してのテスト目的を設定し、それをテストボックスとして表現する。そして、サブ機能それぞれの品質を保証するようにテスト設計を行い、それを含んだ形で大きな単位の機能のテストを行うような場合がこの表現となる。この考え方の背景は、下位の機能の個別要素の網羅は上位機能で考えなくて良いようにするためである。



この関係は、上位のテストボックスのテスト目的を下位のテストボックスのテスト目的に詳細化していることを表している。黒で塗りつぶした矢印を使う。

大きく捉えたテスト目的を具体的に考えるために小さなテスト目的に詳細化する場合や、小さなテスト目的を大きなテスト目的でまとめて扱いたい場合などに使用する。品質特性の主特性と副特性の考え方に近い。

なお、下位のテストボックスがテスト対象を持たないのは、テスト目的を詳細化したからであり、下位のテスト目的のテスト対象は上位のテスト対象である。

テストアーキテクチャ⇔テスト要求仕様

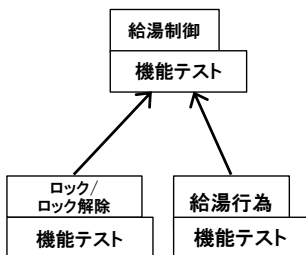
タイマ
機能テスト



テストボックスに対してどのようなテストをするのかという仕様を記述していく。
このテストで何を網羅するのかという網羅観点(テスト条件)もあわせて記述する。
テスト仕様はテスト詳細設計で何を考慮した設計をすればよいのかという拠り所となる。

タイマ機能	テスト要求	TRF01	タイマ機能が提供している機能を検証する	タイマ機能－機能テスト		
		理由	タイマ機能が仕様通りに実装できているかを検証するため			
		説明				
		＜タイマの動作確認＞		タイマ動作、タイマの状態遷移		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	TSF01_11	タイマ起動中の残り時間加算を確認する 【説明】タイマボタン100msec以上押下で表示が1分加算され、ブザーを50msec鳴らす	タイマボタン、ブザー、タイマ表示
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	TSF01_12	タイマ停止中の残り時間加算を確認する 【説明】タイマボタン100msec以上押下で表示が1分加算され、ブザーを50msec鳴らす	タイマボタン、ブザー、タイマ表示
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	TSF01_13	タイマボタンを押すのを止めた1sec後からタイマ起動するのを確認する 【説明】タイマが起動したことは、表示結果の変化で確認する[インシデント表に関連]	タイマ動作、タイマボタン、タイマ表示
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	TSF01_14	タイムアップの表示(0分)・ブザー(100msec間隔で100msecを3回鳴らす)を確認する 【説明】タイムアップ起動の実時間との確認は、TRF01_07で確認する	タイマ動作、ブザー、タイマ表示
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	TSF01_15	タイマボタン3msec以上長押し、リセットを確認する 【説明】リセットはブザーを100msec鳴らし、表示を0(0min0sec)にする	タイマボタン、ブザー、タイマ表示
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	TSF01_16	時間設定範囲を確認する(最小から最大)、および最大越えを確認する 【説明】最小:0min0sec、最大:60min0sec、最大越え:60min0secから1min0secに表示遷移	タイマ表示
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	TSF01_17	タイマ表示に対して実測時間で確認する 【説明】代表値で確認する、また秒の切り上げが行っているかも確認する	タイマ時間
				＜蓋が開いたときの確認＞		蓋状態
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	TSF01_21	タイマボタンが無効であること、およびセット済みのタイマ値がカウントダウンしていることを確認する 【説明】タイマ時間が非表示であるため実測との確認を行う[インシデント表に関連]	

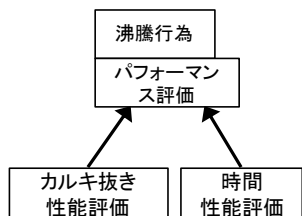
テストアーキテクチャ⇔テスト要求仕様



包含の関係の場合、テスト要求仕様での構造は考慮せず、列挙する。
テスト要求仕様の範囲で包含の関係はテスト要求番号によって解釈する。

給湯制御機能	テスト要求	説明	給湯制御機能-機能テスト	テストベース管理番号
	TRF02	給湯制御機能の機能動作を検証する	給湯制御機能-機能テスト	テストベース管理番号
	理由	ロッカーロック解除-給湯行為の一連の機能動作が仕様通りに実装できて	状態遷移網羅	
	説明			
	＜ロック/ロック解除と給湯行為の状態遷移の確認＞			
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> TSF02_11	ロッカーロック解除-給湯行為の状態遷移を確認する 【説明】無効条件については、下位要求でテスト仕様化できているため、ここでは任意の条件のみとする	解除ボタン、給湯ボタン、ロック/ロック解除、	pot-250,pot-260
	テスト要求	TRF02-1	給湯行為の機能動作を検証する	給湯行為-機能テスト
	理由	給湯行為が仕様通りに実装できているかを検証するため	仕様条件網羅	
	説明	ポンプ動作確認も兼ねる 安全性に影響する機能であるため、テスト設計は厚く行うこと		
	＜ポンプ動作の確認＞			
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> TSF02-1_11	以下の条件を全て満たすとき、給湯ボタンを押下中、ポンプが動作することを確認する 1)ロック解除状態である 2)水量が適正である 3)蓋センサがonである(蓋閉) 4)ヒータ用電源がonである 5)温度エラーを検知していない 6)保温行為中である 【説明】6)保温モード全てを確認しておくこと	給湯始動 ロック/ロック解除、水位センサ、ポンプ始動、蓋センサ、ヒータ用電源、エラー検知、保温	pot-260-11
	テスト要求	TRF02-2	ロック/ロック解除の機能動作を検証する	給湯停止-機能テスト
	理由	ロック/ロック解除が仕様通りに実装できているかを検証するため	仕様条件網羅	
	説明	安全性に影響する機能であるため、テスト設計は厚く行うこと		
	＜解除ボタンの有効の確認＞			
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> TSF02-2_11	以下のすべての条件を満たすとき解除ボタン(ロック/ロック解除)が有効であることを確認する 1)給湯中ではない 2)蓋センサがon(蓋閉) 【説明】ロック中はロック解除中、ロック解除中はロック中に遷移する	ロック/ロック解除、給湯、蓋センサ、解除ボタン	pot-250-21
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> TSF02-2_12	解除ボタンを100msec以上押下すると有効となることを確認する	解除ボタン	pot-250-21
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> TSF02-2_13	ロックランプの消灯・点灯、給湯ボタンの有効・無効を確認する	ロックランプ、給湯行為	pot-250-21

テストアーキテクチャ⇔テスト要求仕様



詳細化の関係の場合、上位テスト要求と下位テスト要求という構造でテスト仕様を記述していく。
 ここで「下位テスト要求が満たされると上位テスト要求が満たされる」という構造であるため上位テスト要求はテスト仕様を持たない。
 この構造はUSDM形式が相性良くフィットする。

テスト要求	TRF03-1-3	沸騰行為のパフォーマンスを評価する		沸騰行為-パフォーマンステスト		
	理由	沸騰行為がどの程度のパフォーマンスか確認するため				
	説明	ここでのパフォーマンスは沸騰時間とカルキ抜きの性能を評価する				
	テスト要求	TRF03-1-3.1	沸騰行為の沸騰時間の性能を評価する	沸騰行為-沸騰時間性能		
	理由	どの程度の時間で沸騰が完了するかを確認するため				
	説明	大まかな性能を評価するため、水量と水温は代表値で設定する				
	＜沸騰行為の沸騰時間性能評価＞					
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	TSF03-1-3.1_11	水量は満水センサライン直下と第1水位センサライン直上とし、水温は5°Cと25°Cの水を利用し、沸騰が終了する時間を計測する 【説明】沸騰ランプの消灯で沸騰の終了を確認する	沸騰、温度表示、沸騰ランプ、沸騰時間性能 pot-400のグラフを参考
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	TSF03-1-3.1_11	時間に合わせて表示温度データを収集し、温度変化をグラフ化する	沸騰、温度表示、沸騰ランプ、沸騰時間性能 pot-311-11,pot-400のグラフを参考
	テスト要求	TRF03-1-3.2	沸騰行為のカルキ抜きの性能を評価する		沸騰行為-カルキ抜き性能	
	理由	100°C以上の加熱継続によってどの程度カルキが抜けるかを確認するため				
	説明	満水が一番カルキが抜けにくいと想定し評価する				
	＜沸騰行為のカルキ抜き性能評価＞					
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	TSF03-1-3.2_11	水道水を満水センサライン直下の水量として以下の条件の水を採取し、カルキ抜き検査を行う 1)100°Cになって、3分後(沸騰行為終了) 2)100°Cになって、1分後 3)100°Cになって、2分後 【説明】沸騰時間でのカルキ抜きの性能を評価する	沸騰行為、カルキ抜き性能 pot-311

テスト要求仕様＋テスト設計方針

テスト仕様のまとまりを作りテスト設計がスムーズに行えるようにする

テスト要求を記述する。またテスト要求は番号で管理し、テストアーキテクチャFIX後は番号を付け、トレーサビリティを取るようにする。

テストベースの管理番号を記述していく。

タイマ機能	テスト要求	TRF01	タイマ機能が提供している機能を検証する	タイマ機能－機能テスト		
	理由		タイマ機能が仕様通りに実装できているかを検証するため			
	説明					
	＜タイマの動作確認＞			タイマ動作、タイマの状態遷移		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	TSF01_11	タイマ起動中の残り時間加算を確認する 【説明】タイマボタン100msec以上押下で表示が1分加算され、ブザーを50msec鳴らす	タイマボタン、ブザー、タイマ表示	pot-270-21、pot-270-31
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	TSF01_12	タイマ停止中の残り時間加算を確認する 【説明】タイマボタン100msec以上押下で表示が1分加算され、ブザーを50msec鳴らす	タイマボタン、ブザー、タイマ表示	pot-270-21、pot-270-31
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	TSF01_13	タイマボタンを押すのを止めた1sec後からタイマ起動するのを確認する 【説明】タイマが起動したことは、表示結果の変化で確認する[インシデント表に関連]	タイマ動作、タイマボタン、タイマ表示	pot-270-41
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	TSF01_14	タイムアップの表示(0分)・ブザー(100msec間隔で100msecを3回鳴らす)を確認する 【説明】タイムアップ起動の実時間との確認は、TRF01_07で確認する	タイマ動作、ブザー、タイマ表示	pot-272-11
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	TSF01_15	タイマボタン3msec以上長押し、リセットを確認する 【説明】リセットはブザーを100msec鳴らし、表示を0(0min0sec)にする	タイマボタン、ブザー、タイマ表示	pot-271-11
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	TSF01_16	時間設定範囲を確認する(最小から最大)、および最大越えを確認する 【説明】最小:0min0sec、最大:60min0sec、最大越え:60min0secから1min0secに表示遷移	タイマ表示	pot-270-22、pot-270-23
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	TSF01_17	タイマ表示に対して実測時間で確認する 【説明】代表値で確認する、また秒の切り上げが行えているかも確認する	タイマ時間	pot-270-21、pot-270-21【説明】、pot-270-51
	＜蓋が開いたときの確認＞			蓋状態		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	TSF01_21	タイマボタンが無効であること、およびセット済みのタイマ値がカウントダウンしていることを確認する 【説明】タイマ時間が非表示であるため実測との確認を行う[インシデント表に関連]		pot-270-61

レビューやテスト詳細設計での反映の確認などに利用する

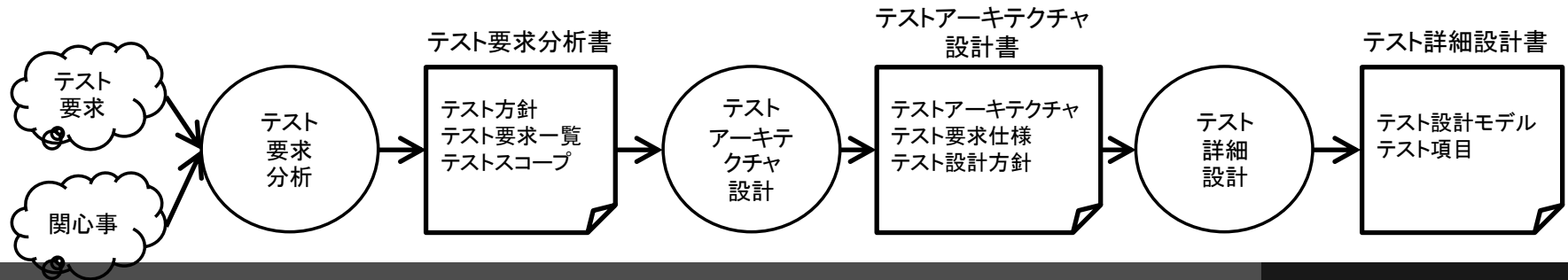
テスト要求を満たすようにテスト仕様を記述していく。適宜【説明】で補足を追加する。

テスト仕様によって網羅される観点(テスト条件)を記述する。テスト条件が変更された場合、テスト仕様を見直すときにポイント的に利用できる。

テスト詳細設計に向けてテスト設計の方針を記述する。

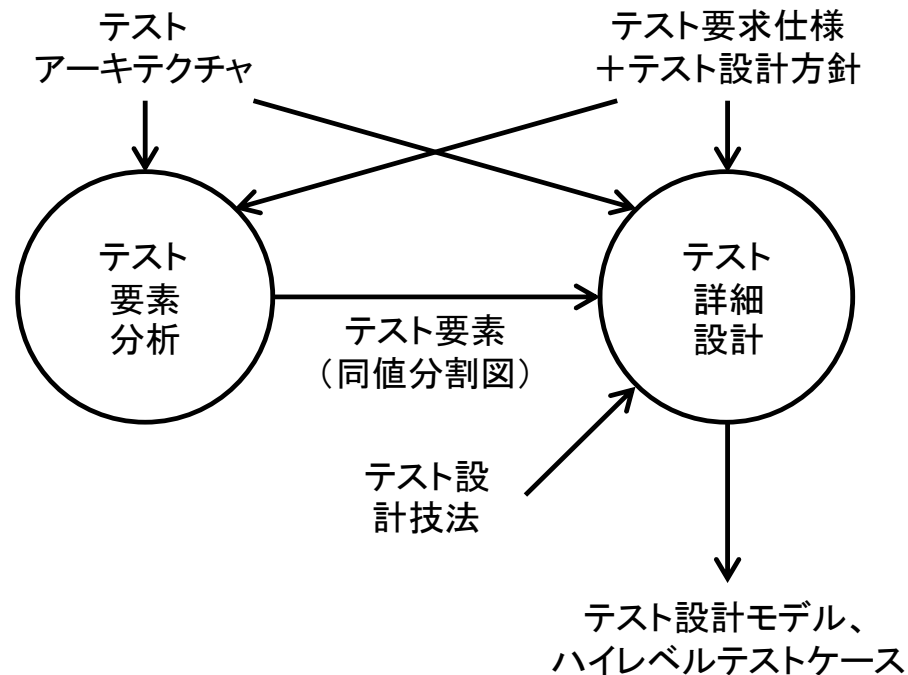
発表の流れ

- ▶ 全体像と特徴・工夫点
- ▶ テスト要求分析
- ▶ テストアーキテクチャ設計
- ▶ テスト詳細設計



- テスト方針に従いテスト仕様を満たすようにテスト詳細設計を行っていく

- ◆ 同値分割図→テスト技法選択・テスト詳細設計の流れ設計を進める



同値分割図+テスト設計

解除ボタン

100msec ≤ 押下
100msec > 押下

給湯ボタン

on
off

ロック状態

ロック中
ロック 解除中

給湯状態

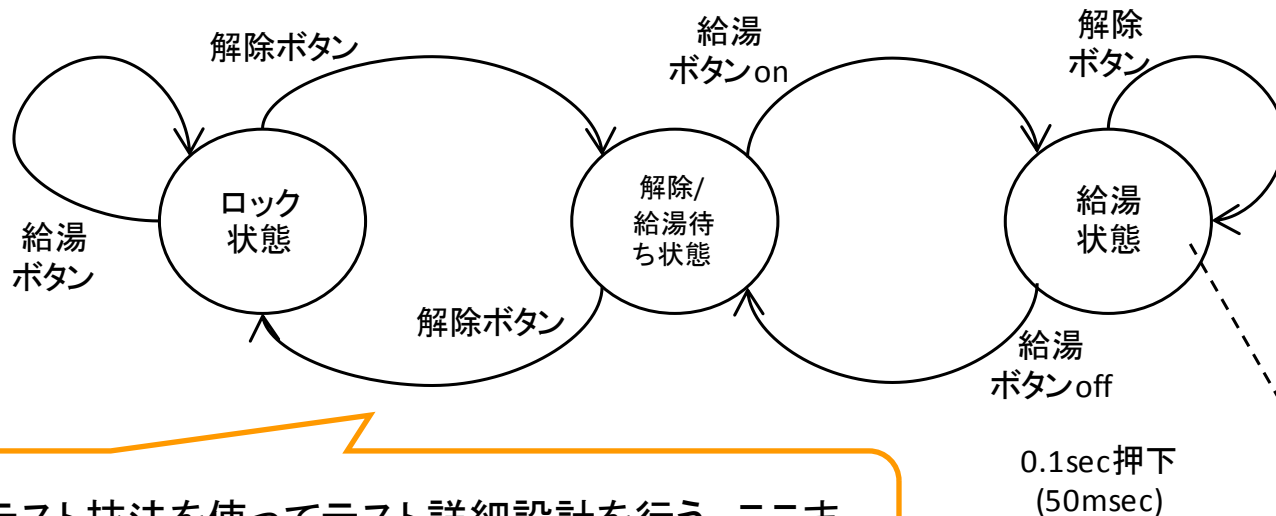
給湯中では ない
給湯中

ロックランプ

on
off

給湯制御

機能テスト



テスト要素を洗い出し同値分割図で表現する。この段階でレビューし漏れがないことを確認することが重要。

テスト技法を使ってテスト詳細設計を行う。ここまで行けば後はテスト項目に落とすだけ。

ラルフチャートによるテスト設計

● 沸騰ポットの完全性確認

◆ 保温中・ロック中に給湯ボタンでお湯が出ないこと

沸騰ポット
安全性確認

ノイズ
 ・タイマ状態 → 温度
 ・ポット設置環境 → 振動
 ・外気温 → 気圧 → 電圧
 ・電源周波数 ・ボタンの押し方
 ・電源OFF前の状態 → 内容物

電源OFF前の状態

給湯中
 沸騰中
 蓋開
 ロックボタン
 操作中
 沸騰ボタン
 操作中
 タイマボタン
 操作中

正常な水量

満水センサー～
第4水位センサーの間
 第4水位センサー～
第3水位センサーの間
 第3水位センサー～
第2水位センサーの間
 第2水位センサー～
第1水位センサーの間

タイマー状態

デフォルト
 1sec加算し
 入力待ち
 カウント
 ダウン中
 タイム
 アップ中

保温モード

高温
 節約
 ミルク

給湯ボタンの
 押し方

正常
 連打

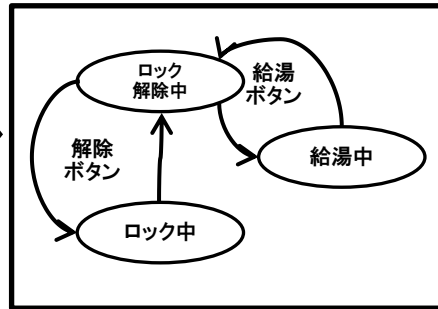
電源周波数

西日本
 東日本

設定環境

正常
 ななめ

入力
 ・給湯
 ボタン
 ・解除
 ボタン



出力
 ・お湯が
 出ない

内部状態
 ・エラー検知 → ヒータ電源
 ・水量 → 蓋
 ・温度制御状態

no.	電源OFF前の状態	正常な水量	タイマー状態	沸騰要求イベント	解除ボタンの押し方	電源周波数	設定環境	沸騰状態
1	給湯中	第3水位センサー～第2水位センサーの間	デフォルト	蓋閉	正常	東日本	ななめ	加熱中
2	沸騰ボタン操作中	満水センサー～第4水位センサーの間	1sec加算し入力待ち	沸騰ボタン押下	連打	西日本	正常	カルキ抜き
3	タイマボタン操作中	第4水位センサー～第3水位センサーの間	1sec加算し入力待ち	沸騰ボタン押下	正常	西日本	ななめ	加熱中
4	タイマボタン操作中	第2水位センサー～第1水位センサーの間	デフォルト	蓋閉	連打	東日本	正常	カルキ抜き
5	給湯中	第3水位センサー～第2水位センサーの間	1sec加算し入力待ち	沸騰ボタン押下	連打	東日本	ななめ	カルキ抜き
6	タイマボタン操作中	満水センサー～第4水位センサーの間	タイムアップ中	蓋閉	正常	東日本	正常	加熱中
7	沸騰ボタン操作中	第2水位センサー～第1水位センサーの間	カウントダウン中	蓋閉	正常	西日本	ななめ	加熱中
8	給湯中	第2水位センサー～第1水位センサーの間	タイムアップ中	沸騰ボタン押下	正常	西日本	正常	カルキ抜き
9	沸騰中	満水センサー～第4水位センサーの間	カウントダウン中	沸騰ボタン押下	連打	東日本	ななめ	加熱中
10	蓋開	第4水位センサー～第3水位センサーの間	カウントダウン中	蓋閉	連打	西日本	正常	カルキ抜き
11	給湯中	第4水位センサー～第3水位センサーの間	カウントダウン中	蓋閉	連打	東日本	正常	カルキ抜き
12	沸騰ボタン操作中	第3水位センサー～第2水位センサーの間	タイムアップ中	蓋閉	連打	東日本	ななめ	加熱中
13	ロックボタン操作中	満水センサー～第4水位センサーの間	デフォルト	沸騰ボタン押下	連打	西日本	正常	カルキ抜き
14	ロックボタン操作中	第3水位センサー～第2水位センサーの間	1sec加算し入力待ち	蓋閉	正常	東日本	ななめ	加熱中
15	沸騰中	第3水位センサー～第2水位センサーの間	1sec加算し入力待ち	蓋閉	正常	西日本	正常	カルキ抜き
16	蓋開	第4水位センサー～第3水位センサーの間	タイムアップ中	沸騰ボタン押下	正常	東日本	ななめ	加熱中
17	ロックボタン操作中	第4水位センサー～第3水位センサーの間	デフォルト	蓋閉	連打	西日本	ななめ	カルキ抜き
18	沸騰ボタン操作中	第4水位センサー～第3水位センサーの間	デフォルト	沸騰ボタン押下	正常	東日本	正常	カルキ抜き
19	蓋開	満水センサー～第4水位センサーの間	デフォルト	蓋閉	正常	東日本	ななめ	加熱中
20	沸騰中	第4水位センサー～第3水位センサーの間	タイムアップ中	蓋閉	連打	東日本	正常	カルキ抜き
21	沸騰中	第2水位センサー～第1水位センサーの間	デフォルト	蓋閉	正常	西日本	ななめ	加熱中
22	蓋開	第2水位センサー～第1水位センサーの間	1sec加算し入力待ち	沸騰ボタン押下	連打	東日本	正常	加熱中
23	給湯中	満水センサー～第4水位センサーの間	デフォルト	蓋閉	連打	東日本	ななめ	カルキ抜き
24	ロックボタン操作中	第2水位センサー～第1水位センサーの間	カウントダウン中	沸騰ボタン押下	正常	東日本	正常	加熱中
25	タイマボタン操作中	第3水位センサー～第2水位センサーの間	カウントダウン中	蓋閉	正常	西日本	ななめ	カルキ抜き
26	ロックボタン操作中	第3水位センサー～第2水位センサーの間	タイムアップ中	沸騰ボタン押下	正常	東日本	正常	カルキ抜き